

科目責任者 石橋 賢一（病態生理学研究室）

■ 教育目的

開講して9年目の本年の目標は現代医科学と薬剤開発についての歴史を学び、病態生理学や薬物治療学の理解を深め、実用的な知識として活用できるようにすることである。発見の歴史をたどることで、基礎医学や基礎薬学の知識が確実なものになる。のちに学習する必須科目（病態生理学・薬物治療）にも興味が広がる。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-⑤、SD-③、SD-④】

■ 学習到達目標

- 1、科学知識や病気が発見され、検査、診断、治療法が確立された歴史を理解する
- 2、臓器相互の知識によって体全体の視点から病気や薬物療法を理解する
- 3、生物学を進化の視点から理解する。
- 4、病気を進化の視点から理解する。
- 5、創薬のターゲットの発見の歴史を学ぶ。
- 6、主要疾患の治療法の変遷の歴史を学ぶ。
- 7、医療制度の変遷の歴史と海外事情を学ぶ。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：特に必要ない

復習：特に必要ないが興味をもった項目について調べておく（レポート提出に必要）

■ 授業内容

はじめに現在の疾患の理解を補うように基礎科学研究・病態治療研究の概略を説明する。さらに分野ごとの歴史だけでなくエピソードを主体とした疾患の発見・研究・治療開発の歴史を病態や臓器別に解説する。スライドを用いた講義と、オーディオやビデオを用いた体験型授業も行う。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	水代謝の進化と研究の歴史	バソプレシン、オキシトシン、水チャネル、浸透圧調節など	
2	血糖調節の進化と研究の歴史	糖尿病、インスリン、グルカゴンなど	
3	食欲調節の進化と研究の歴史	オレキシン、グレリン、メラニン凝集ホルモンなど	
4	ミネラル代謝の進化と研究の歴史	カルシトニン、PTH、ビタミンD、FGF23など	
5	血圧調節の進化と研究の歴史	アドレナリン、エンドセリン、NOなど	
6	性分化の進化と研究の歴史	性決定、性染色体、胎盤など	
7	老化の進化と研究の歴史	細胞老化、個体老化、ウェルナー症候群など	
8	神経系の進化と研究の歴史	グリア細胞、ニューロン、プリオン病など	
9	免疫系の進化と研究の歴史	膠原病、臓器移植、癌免疫療法など	
10	血液系の進化と研究の歴史	輸血、白血病、細胞培養など	
11	腎臓の進化と研究の歴史	ネフロン、腎炎、透析など	
12	循環器系の進化と研究の歴史	動脈硬化、心筋梗塞、不整脈など	
13	呼吸器系の進化と研究の歴史	喘息、肺炎、睡眠時無呼吸など	
14	消化器系の進化と研究の歴史	腸内細菌叢、消化管ホルモン、肝炎など	
15	医療制度の歴史	医薬分業、保険制度、病院、海外医療制度の比較など	

■ 授業分担者

石橋 賢一

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

出席10%、レポート90%によって評価する。

■ 教科書

プリントを配布